



2022年5月20日

各 位

G M B 株 式 会 社
代表取締役社長 松 波 誠
(コード番号：7214 東証スタンダード)
問合せ先 執行役員総務部長 和田勝也
(0 7 4 5 - 4 4 - 1 9 1 1)

不正アクセスおよび情報流出の可能性に関する調査結果のお知らせ

2022年3月1日付「当社サーバーへの不正アクセスに関するお知らせ」にて、公表いたしました、当社への不正アクセス事案について、その後の対応および調査会社による調査結果について、下記のとおり、お知らせいたします。関係者の皆様には、多大なるご迷惑とご心配をおかけしましたこと、改めて深くお詫び申し上げます。

記

1. 不正アクセス被害の概要

2022年2月27日未明、当社ネットワークシステムの脆弱性を悪用した外部の第三者によって、当社サーバーに不正に侵入されたうえで、複数のサーバーおよびPC端末にアクセスしファイルを暗号化する攻撃を受けました。当社は翌日以降約1ヶ月の間、通常業務に影響を受け、一部の受発注業務や生産・出荷に遅れが生じました。

発生後速やかに、被害の拡大を防ぐためにネットワークを遮断・制限しながら、警察やシステム業者、インシデント対応専門の調査会社などの関係機関への報告と助言のもと、安全を確認しながら復旧作業をすすめ、既に通常どおり業務ができる状況に復旧しております。

2. 情報流出の可能性

不正アクセス被害を受けた端末には、取引先との取引内容に関する情報も保存されていたため、調査会社による原因と被害範囲の調査と併行して被害端末からの情報流出の可能性についても詳細に調査してまいりました。

その結果、調査会社の調査の範囲において各被害端末からデータが外部に流出した疑いのある痕跡は確認されませんでした。さらに、調査会社に依頼し、不正に取得した情報が流通しているとされる「ダークウェブ」のモニタリングを実施しておりますが、現時点まで当社から流出したと思われるデータが流通している痕跡は確認されておられません。

3. 再発防止策

原因となった可能性の高いネットワークシステムの脆弱性については既に対策を実施するとともに、関連するIDとパスワードの変更や、外部からのネットワークへの接続制限の強化を実施いたしました。

また、サイバー攻撃を受けた際の検知と初動対応の強化、バックアップ手段の見直し等、被害拡大防止や迅速な復旧に備えた対策も速やかに強化してまいります。

4. 業績への影響

被害発生から復旧までの一部の事業活動の遅れや調査と復旧に係る経費発生による影響がありますが、いずれも業績への影響は軽微であり、現時点で今年度に必要とされる経費の大半については本日公表いたしました2023年3月期の業績予想に含めております。

以上